

×× あの時の君を忘れない ××

この街に美容室五番街を開業して、もう43年になる。誰も知らないこの場所で、いや誰も知っている人がいないからこそ、失敗すれば自分だけの責任。親類や知人がいれば迷惑をかけてしまう事があったかもしれないが、その分精神的には気楽に開業が出来た。

開業前に二日、駅の前で乗降客を数えたり、宇都宮市や県北の理美容室へもお客様として行ってみた。初めて来てくれたお客様は、大高生だったKくん。今でもご来店なされている。ご近所で何かとアドバイスしてくれた花屋の常ちゃん。帰り道、ちよつと寄れと声かけて頂いた酒屋のおじちゃん。あの頃を忘れない。

順調な経営で店舗が4店になり、飲食店も始めた。有り頂天だった頃、案の定自分のマネジメント能力の無さから離れていくスタッフのなかで、側にいてくれたMくん、お客様なお掃除を手伝ってくれていたGさん、嬉しかったなあ、あの時を忘れない。

れたなあ。姉のような存在だった美容学校の同期のZちゃん、随分肩を叩かれたなあ。そして、仕事とコンテストに追われて淋しい思いばかりさせた、Tちゃん、本当にごめんなさい。未熟だった自分。

開業してから、周りから「結婚して子供を作って、家を建てる、それが一人前の男だよ。」と言われて頑張ったけど、また仕事に打ち込み過ぎて悲しい思いをさせてしまったKさん。あの時に、別れた子供たちを思い幾度も幾度も、夜の道を走り、窓の明かりを見に行ったり、泣きながら。そこにいる子どもとの距離に、自分を責めた。別れる時に泣いていた二人の子供の顔を一生忘れない。有難いことに、今は二人とも、連絡が取れている。彼らに言われた言葉は、「かつこいいお父さんじゃなければ、来なかったよ。」今、社会に必要とされ、業界に必要とされるよりも、まず第一には、家族に必要とされるため、生きている。それから周りの人に愛情をそそぎ、社会に必要な自分であるか問う。二人の言葉を忘れない。

現在、本当に素敵なパートナーと暮らしてる（少し怒りん坊だが）（笑）日々感謝の時を過ごしながら二

現在の場所に移転する際に、金融機関に出向いてくれたKさん、その金融機関で上司に、全力でかけあつて億を超える融資を通したTさん、二人のお蔭で今がある。

どれだけ多くのスタッフが入店し、どれだけの有能な人が去っていったのだろう。すべては自分の能力が低かったから、ああ、今会えたなら謝りたい。現在のスタッフの待遇は、それらのスタッフの退職理由からの学びだ。あの頃の君たちを忘れない。

都内での修業時代、先輩から親がいなければ、保証人がいないのだから金融機関から、融資受けられないので、お店は持てないよと、結婚も無理かもと言われ鵜呑みにした自分は、ならこの道でスタッフとして頑張ろうとコンテストに励み、大きな会社へヘッドハンティングされ、新店開発部門の教育を任されていた。それで自分の人生は生終わると盲信していた。

恋愛は、怖くて控えていた自分に初めて出来た女友達の理容学校の同期のKちゃん、天真爛漫で救わ人時間を大切にしている。息子も事業継承を、行つて家族一緒に毎日働ける幸せな時だ。二代目は、本当によくやってくれている。

このポクポクというミニコミ誌の、秋本知佳子さんが、僕の所にやってきて、短文のコラムの執筆を依頼してくれた。おかげで自分がこのように好きな文章を書かせて頂いている。こんな有難いことがあるなんてと、感謝している。彼女の頑張っている姿を見るとギョツとハグしたくなる、だって知佳子さんがとても頑張っているのを、僕は知っているから、愛情と尊敬と感謝の心を添えて。

これからも、誰かに必要とされる人でありたい。

（文 五番街代表 大倉太喜生）



hair design 五番街

TEL.0287-36-6811
那須塩原市太夫塚6-232-213